

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月17日(17:10~18:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	3人	2人	人	7人

前回の改善計画

利用者の言葉を注意深く聞き取り、利用者の立場に立った見方や利用者の暮らす地域の理解をチームアプローチで情報を統合し、「望む生活」に向けた視点でアセスメント能力を身につける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・日々の情報伝達に個人差があり、聞き取りや見方が不足し伝わらない事があった。
- ・アセスメント学習会を開催し、困りごとの背景を引き出す「質問力」や利用者個々を理解するための「情報収集力」を学び、新たに隠れた課題を引き出すことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	3			7/7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	4			7/7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	2			7/7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	3	1		7/7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用開始前に本人や家族、以前利用していた事業所の職員等から情報を得るとともに、本人や家族の身上を把握し、その思いや不安を受容し納得のいく説明や事前見学を実施したりし、安心と信頼を得られるよう努めている。そこで得た希望や課題は、書面やミーティングで職員へ周知している。本人や家族が今必要とされるサービスを見極め、緊急性及び本人の背景を考慮し、多職種と連携しサービス内容等を調整している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・家族の思いや相談を聴く時間が限られ、最低限の関わりとなっている。
- ・急なサービス利用開始初期は職員によって提供するサービスに統一がとれていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・送迎時や訪問サービス利用時、家族の思いや不安な声を聴き取り関係構築に努める。
- ・サービス利用初期はサービス内容の変更も多く職員間の統一が図りにくい為、利用の度にミーティングを開催し情報を共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月17日(18:00~18:50)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	2人	人	人	7人

前回の改善計画

利用者の思いや要望を十分に聴き取れるようにコミュニケーションの重要性を認識し、ライフストーリーを傾聴することで得た内容をミーティングで情報発信を積極的に行いより深い利用者理解へ繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者の訴えを傾聴し真のメッセージを引き出すように関わることで、情報を収集することができ、様々な視点で利用者を理解することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	5			7/7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	2	2		7/7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	3	1		7/7
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	2			7/7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用開始前はもちろん利用の途中でも、常にその方の意思をくみとり、援助目標を設定し介護計画書を作成している。利用の度に目標の実施状況を確認し問題点等は検討会議を開催し、現状に即した介護計画書が作成できるよう本人や家族、多職種と意見を交わしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・介護経験差もあり自らの思いを発信できない職員もいる。
- ・全利用者の情報把握が不十分である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・各利用者の担当職員が具体的なケア方法や留意点などを的確に確認できる書式を作成し、都度見直す他、6ヶ月1回更新する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月17日(18:50~19:50)

3. 日常生活の支援

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	1人	人	人	7人

前回の改善計画	意識や関心が持てる体制を整備し、利用者の「思い」に気付く良好なコミュニケーションや信頼関係を構築する関わりや対応ができるように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	全職員が利用者個々のケアの意味や根拠を理解し、ケアの振り返りの場を設け信頼関係を構築する対応が行なえた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	4		7/7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7				7/7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5			7/7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	3			7/7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	3			7/7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前に自宅に訪問し生活環境等を確認するとともに、本人や家族から生活歴等の聞き取りを行い把握できている。また、以前利用していた介護サービス事業所や介護支援専門員から情報提供を受け、サービス利用の経過等も把握している。本人の変化等は記録に残されると共に、ミーティングにおいて職員間で共有し、その時々合った支援を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・異動や入職により「以前の暮らし方」の把握において、個人差がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者個々が希望する暮らし方や気持ちを利用中に聴き取る。家族からは送迎や訪問サービス利用時に聴き取り情報を共有し、適切なケアを実践する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月18日(17:10~18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	人	7人

前回の改善計画
・地域にある資源を収集し、インフォーマル活動や多様な社会資源を利用者本人が活用できるようマネジメントを行い、住み慣れた地域を実現できるように展開していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
インフォーマルサービスの情報収集が不十分で、利用者個々が暮らしている地域交流や資源の活用が出来ていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7			7/7
	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6			7/7
	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	5			7/7
	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	6		7/7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用開始前に生活スタイルや人間関係を本人や家族から聞き取りを行い把握している。地域の馴染みの商店へ買い物や食事、足湯や理容店の利用など、個々の外出支援を行っている。地域ボランティアの受け入れ、地域の高齢者施設との交流、事業所広報誌の配布など、積極的に地域との交流を図っている。自宅での暮らしについては、日々の会話や介護支援専門員の訪問等で家族から情報を得て把握している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・利用者個々が暮らしている民生委員を把握できていない。 ・利用者の自宅での生活全てを把握することは難しい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・引き続き訪問や送迎時、利用者を支えて頂いている近隣の方へ、積極的に挨拶し関係作りに努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月18日(18:00~18:40)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	人	7人

前回の改善計画

・統一したケアを実践するためにも、引続き利用者の些細な変化もカンファレンスを開催する。対応方法など共通認識し支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果

介護経験や知識不足により、利用者個々のニーズに対応したサービスの提供が出来ない職員がいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		7			7/7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	1			7/7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	2			7/7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	1			7/7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者個々の身体状況や生活背景、本人を支えている家族の都合も考慮し、必要なサービスを適切に提供している。又、地域の掃除・傾聴ボランティア、配食弁当、ふれあい収集(ゴミ収集)など、地域の資源も活用し支援している。体調の変化が見られた際は、速やかに家族や個々の主治医、母体の協力医療機関と緊密な連絡をとり、適切な医療が受けられるよう支援している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・介護職員は施設内のケアが中心で、本人の自宅や地域での生活について、直接支援したり状況を把握する機会が少ない為、地域との関係や地域資源の情報について意識が薄い部分がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・地域資源についての学習会を引き続き開催し、理解を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月18日(18:40~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	4人	人	7人

前回の改善計画
事業所内で開催する行事に地域の方を呼び掛け、交流の場となるよう広報誌で発信する。

前回の改善計画に対する取組み結果
新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、事業所内で開催する行事には、お誘いしなかった。事業所の活動報告を広報誌で発信し、地域で身近な事業所であることを、お知らせした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	6	1			7/7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	3	3	7/7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	1	4	7/7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2		1	4	7/7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアプランの更新時はもちろん、利用者の状態変化時、福祉用具の貸与や変更等、適切に医療機関、訪問看護師、福祉用具専門相談員、理学療法士等と、担当者会議を設けている。町内会の清掃にも積極的に参加している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自治体や地域包括支援センターとの会議には、決められた職員しか参加していない。
・新型コロナウイルスの感染拡大の観点により、地域等の行事は中止となり参加できなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・引き続き事業所の活動報告を広報誌で発信し、地域で身近な事業所であることを、お知らせする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月19日(17:10~17:40)

7. 運営

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	2人	人	人	7人

前回の改善計画

管理者以外の職員も運営推進会議に参加し、地域住民や家族からの意見など運営に反映する。

前回の改善計画に対する取組み結果

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う書面開催により、直接意見や要望等、聞くことは叶わなかった。しかし、運営推進会議の開催月や送迎時等、関係者から意見等お聞きし、部署会議で検討し事業運営に反映した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	5	2			7/7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	1			7/7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	2			7/7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	2		7/7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職員の意見が運営に反映できるよう個人面談や月1回、事業所会議を設けている。利用者には関わりの中で要望等を聞き取り、その意見等を反映している。また、年2回、満足度調査を実施し提供するサービスにおいて不足点等を把握し、サービスの充実を図っている。家族には介護支援専門員の訪問時や、利用時の連絡帳、送迎時の職員との会話などを通して意見を寄せてもらっている。受けた要望等は会議で検討し柔軟に対応している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・新型コロナウイルスの感染予防の観点に伴い、地域と協働した取り組みや関わりが行なえていない。
- ・異動職員や介護経験の浅い職員は「事業所のあり方」について、意見を言えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・全職員との定期的な面談を行い、その意見を事業所運営に反映する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月19日(17:40~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	1人	人	7人

前回の改善計画

内部研修(リスクマネジメント)や事故の分析報告会(年度末)が形式的な開催とならないよう、目的や目標を明確にして行ける内容とし、工夫していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

事故・ヒヤリハットの内容や発生時刻などを分析し、生活のあらゆる方向から安心、安全に生活を送られるように努めた。対応策は定期的に評価し実践することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	1			7/7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	5		7/7
③	地域連絡会に参加していますか	1		2	4	7/7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	4			7/7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

事業所職員は毎月、法人研修に参加したり、内部研修を企画・参加し職員として必要とされる知識や技術を身に付けている。又、介護福祉士・介護支援専門員の資格取得に向け、通信教育や研修会に参加している。各職員のレベルに合わせた地域密着型サービス管理者研修、計画作成担当者研修、認知症介護実践者研修等にも参加している。介護事故が未然に回避できるようカンファレンス、研修を開催している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・新型コロナウイルスの感染予防の観点に伴い、外部研修や地域連絡会への参加を控えた。
・カンファレンスにて介護事故(ヒヤリハット)の再発防止策を検討し、実践、評価しているが、同様事故等が繰り返されることがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・法人研修、内部研修、外部研修の他、eランニング(ビデオ学習)を実施し、自主学習できる機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月19日(18:30~19:20)

9. 人権・プライバシー

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	1人	人	人	7人

前回の改善計画

利用者への言葉使いや接遇に関する継続的な検討の場や研修を実施し、職場で守るべきルールや介護職としての高い倫理性について周知していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

事業所が整備しているマニュアルを全職員で読み合わせし、介護職が抱える様々な問題について、その原因を知り、解決へ向かうための方法を学んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	2			7/7
②	虐待は行われていない	7				7/7
③	プライバシーが守られている	3	4			7/7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7				7/7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	1			7/7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待について法人研修、内部研修に参加し学んでいる。また、自宅での様子も見過ごされることがないように注意を払い逆他未然防止に努めている。個人情報の利用目的・方針については、契約時に本人や家族に書面で説明し了承を得ているとともに、個人情報にあたる書類は鍵の掛かる書棚で適切に管理している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度を活用するケースがなく、職員の制度に対する理解が低い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・次年度の研修計画に「成年後見制度」に関する研修を取り入れ理解を深める。